

第26期第11回常任理事会議事録

日時：11月26日 13時30分～17時30分

場所：気象庁 気象学会事務室

出席者：浅井 小倉 藤谷 木田 村上 青木 安富
安成

議事

報告事項

A. 各委員会報告

「庶務」

- ・後援名義等使用依頼 3件
- ・杉村行勇会員（元理事）11月9日ご逝去

「会計」

- ・10月分の収支状況
- ・秋季大会（名古屋）収支決算（見込）書

「天気」

- ・11月号の内容と12、1月号の予定

「講演企画」

- ・1992年度春季大会の準備状況，詳細は「天気」12月号に掲載
- ・1992年度秋季大会（10月7—9日），シンポジウムを1日目に繰り上げて行う
- ・第3回合同大会における共催シンポジウム
テーマ：「赤道大気上下結合」
日程等：1992年4月8日午後，京都大学教養部
共催：日本気象学会，地球電磁気・地球惑星圏学会

「国際学术交流」

- ・1992年度下半期の追加募集，数人の応募がある見込み

「総合計画」

- ・地球惑星科学関連学会連絡会の第2回会合（11月8日）測地学会に坪井賞を新設
WPGM，1992年は香港で開催

「IAMAP」

- ・IAMAP—'93科学プログラムで16のシンポジウムが決定した。惑星関係のシンポジウム（コンビナー松井 孝典会員）を追加した。

「通信メディア」

- ・10月の着信件数（215件）と内容

B. 審議事項

1. 第4回理事会の議事録は一部修正のうえ承認された。
2. 会員の新規加入について，個人20名が承認された。
また，退会について個人6名の報告があった。
3. 評議員会について
2月上旬に行うことが了承された。
4. 複写権委託について
11月21日（木）の学協会著作権協議会による著作権説明会に村上，青木理事が出席した。学協会と出版者等が統一して複写権センターが設立されたなどの動きがある。複写権の委託について次回の常任理事会に学協会著作権協議会から説明を受けることにした。
5. 講演企画委員会の委員の交代が承認された。
新委員 深堀 正志（気象研究所）
前委員 塩原 匡貴（気象研究所）
6. 学会運営体制の強化について
会費の値上げをしないで，内部努力で運営してきたがこれ以上の節約では学会の活動に影響がでること。また，業務量の増加により事務局を強化する必要があることが総合計画担当理事から説明があり，審議された。次回に詳細に審議をすることとした。